

PROGRESS Report

本報告書は財団の事業年度の変更に伴い、2014年5月1日から9月30日までのものとなります。

WE ARE MUDEF

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-14-13
p 03.5414.7778
mail: info@mufdef.net

一般財団法人mufdef（ミューデフ）は、
「Music+Design」を組み合わせたコトバ。

「音楽とART」が持つパワーで、
より良い社会の実現を目指して、設立されました。

mufdefの活動の軸は、
「ミレニアム開発目標（MDGs）」。

MDGsとは、2000年189の国の人々が同意した、
21世紀の国際社会が真っ先に取り組むべき課題。
2015年までに国際社会が達成すべき
8つの目標を掲げています。

2015年まで残された期間は、残りわずか。

私たちは、MDGsの達成がすべての人が尊厳を持ち、
持続可能な社会が生まれるための、
大きな前進であるとの信念に立ち、
課題解決に向けて、
影響力を持つアーティストやスポーツ選手の方たち
（=mufdef MESSENGER）と共に、事業を行います。

世界が約束した8つの目標（=goal）

- GOAL1 貧困と飢えの撲滅
- GOAL2 初等教育の完全な普及
- GOAL3 男女平等の推進と女性の地位向上
- GOAL4 子どもの死亡率の削減
- GOAL5 妊産婦の健康改善
- GOAL6 マラリアなど感染症の蔓延を防止
- GOAL7 環境の持続可能性の確保
- GOAL8 開発のための世界的なパートナーシップ構築



一般財団法人mufdef
www.mufdef.net

- 団体名称 一般財団法人 mufdef（みゅーでふ）
【英語名称：General Incorporated Foundation mufdef】
- 代表理事 谷川 寛人（株）リズムメディア 代表取締役
- 副代表理事 信藤 三雄（アートディレクター）
久保 琢郎（ミュージシャン）
- 理事 MISIA（ミュージシャン）
大宮 エリー（作家／脚本家／映画監督／演出家）
後藤 新治（（株）キョードー北陸 代表取締役社長）
清水 佳代子（（株）シミズオクト 副社長）
松中 権（（株）電通
／NPO 法人グッド・エージング・エールズ 代表理事）
- 監事 菅原 邦彦（公認会計士）
小川 恵司（弁護士）
- 評議員 盛田 正明（（公財）日本テニス協会 名誉会長）
海部 宣男（放送大学教授／天文学者）
橋本 福治（（株）キョードー大阪 代表取締役）
菅原 茂友（（株）ハウフルス 取締役副社長）
太田 正治（（社）日本イベント産業振興協会 専務理事）
- mufdefAMBASSADOR 岩本 輝雄（元サッカー日本代表）
- 所在地 東京都渋谷区
- 設立日 2010年5月21日

mufdef PROFILE

mufdef へのご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2014 年は一般財団法人 mufdef が事業年度を変更したことから、今回の報告書は
年次報告ではなく、進捗報告書という形となりました。

2010 年の設立から振り返ると事業の幅も少しずつ、増えてつつあります。

とはいえ事業が増えることは目的ではありません。
必要な支援を必要としている人へ届けること。

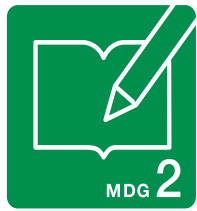
mufdef では引き続き、サポートを必要な場所へ、必要なところへ届けるお手伝いができればと願っています。
引き続きご指導ご鞭撻賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

一般財団法人 mufdef
事務局長

長島美和

Contents

MDGs2[初等教育の普及] Project Magoso
MDGs3[ジェンダー平等] LGBT 支援
MDGs6[マラリア等の疾病の蔓延防止] Love is Free Campaign
MDGs7[生物多様性の保全] SATOYAMA BASKET
MDGs8[パートナーシップ] HOPE&DREAMS PROJECT
東日本大震災支援 HOPE FOR JAPAN
事務局概要



ACHIEVE UNIVERSAL PRIMARY EDUCATION

[全ての子どもに学ぶ機会を] Project Magoso

ケニアの首都ナイロビに位置するキペラスラムにあるマゴススクールを2007年にMISIAが訪問したことがきっかけで始まったプロジェクト。子どもたちがより良い教育を受けることができる環境づくりを支援しています。

現在mudefでは、マゴススクールを卒業生した子どもたちの、セカンダリースクール（日本の中等教育に相当）への進学をサポート。

ケニアでは、セカンダリースクールへの純就学率は男子で50%、女子で48%にとどまっています。中等教育への機会を提供することは、将来の選択肢が広がることを意味します。

2008年12月からこれまでに拠出した金



額は1,916,560円。支援対象者は累計17名になりました。現在4名を継続支援しています。

アグネスの日本留学

2014年には、セカンダリースクール卒業2期生のアグネスとドリスの日本の大学への留学許可が出ました。そのうちアグネスは、mudefがこれまでに支援してきた子どもの1人です。

アグネスは1993年生まれ、2008年にマゴススクールを卒業し、2012年にはセカンダリースクールを卒業しました。卒業後、2013年はマゴススクールのボランティアスタッフとして幼稚園を担当。2014年に入ってから、マゴススクール内で新設された障がい児特別支援学級の担当をしていました。

入学を許可したのは、埼玉県の立正大学。二人の渡航費、学費、寮費などは立正大学の有志による「ドリス・アグネス基金」の設立により、実現しました。二人は5月の来日後、日本語教育を受け、そ



の後大学受験に受ければ、2015年4月1日から4年間で立正大学社会福祉学科に留学する事となりました。

ただ来日後の身体検査でアグネスが病気になることがわかり、入院を余儀なくされました。当初予定していた日本語の講習を受講できなくなったのですが、退院後に再び日本語の勉強と受験に備える予定です。

進学先の高校で火事

7月、現在mudefが支援している、ルワビ（2年）、アイリーン（1年）が通うKaani Lions Secondary Schoolの男子寮が火事で全焼しました。

現在ケニアでは、悪化する経済や政治的混乱などから、学校へ本来分配される予算が支給されないことによる学校状況の悪化などを背景にした、生徒による不満のはけ口として学校への生徒による放火やスト、破壊行為が問題化しています。今回の事件では、連帯責任として生徒全員が破壊された物品の弁償をするとなりました。



GENDER EQUALITY

[虹色な社会] LGBT サポート

あらゆる人が、差別を受けることなく等しくあらゆる機会を享受することができ社会的構築の重要性について異論はありません。しかし、今なお尊厳ある生活を送ることが困難な人が多く存在します。特に、ジェンダーに基づく差別は根強く、社会的、経済的、政治的に脆弱な立場に置かれることが日本国内だけではなく海外でもあらゆる場面で指摘されています。

ジェンダーに起因するあらゆる諸問題の解決のために、mudefではLGBT（レズビアン（L）／ゲイ（G）／バイセクシュアル（B）／トランスジェンダー（T））支援を行っています。

現在、mudefでは、国内のLGBT団体によるシェアワーキングスペースを恒常的に使用することで、団体支援を行う他、mudefが発行するニュースレターでLGBTの紹介を行うなど、精力的な活動を展開しています。



月刊誌「ソトコト」で連載中のMISIA「あふれる想い」。2014年8月号・9月号で「LGBTを語る」として理事松中権と対談しました。



シェアワーキングスペース

[mudef NEWSLETTER41 号より] (一部修正)

LGBT文化を講ずる、世界各国で行われているイベント「プライドパレード」では、カラフルに装飾された「フロント」と呼ばれる山車やダンサー、ドラァククイーン、音楽など、各国それぞれの方法で盛り上がりします。私はカナダ・バンクーバーに留学していた時、このパレードを見たのですが、たくさんのレインボーフラッグが見えました。ドラァククイーンやレインボーフラッグを持った人、LGBTであることを宣言したTシャツや装いをしている人は、歩くだけで周囲の人からの拍手に包まれていました。ゲイプライドの日は主役がLGBTの人々なのです。今まで、日本で見えた事のない光景だったので驚きました。同時に街全体がこのパレードを祝福していたこと、大人も子どもも、LGBTの方も、みんながひとつになって出来上がったあの華やかなパレードには感動しました。

(執筆：学生インターン)



NO MORE MALARIA

[安心な夜を] Love is Free Campaign

マラリアは「ハマダラカ」という蚊が媒介する、感染症。

世界保健機構のレポートによれば、2013年に世界で発生したマラリアは約2億件、そのうち58万4000人が死亡したと推測されています。その9割はアフリカで発生。特に犠牲者の大半は5歳未満の子どもであり、約45万3000人に上ります。

先進国ではほぼ撲滅されていますが、アフリカでは貧困や財政難のために十分な対策がとれません。マラリアに罹患することで、就業や教育の機会を失い貧困から脱却できないという悪循環に苦しんでいます。

健康な身体は、子どもたちが学校に通い、将来を選択するために不可欠です。mudefではその信念から2009年より開始した、Love is Free Campaignを通じて、これまでに合計8500張をセネガル、マラウイに届けられました。



TAKI SMILE DESIGN LABO

2014年現在、第6弾の配布をmudefでは準備しています。

今回の予定は2000張の蚊帳をマラウイへ届けること。マッチング寄付で半数分にあたる蚊帳1000張の提供と現地への調達の手配で協力いただいている住友化学株式会社様と現在配布の調整中です。

今回の特徴は、2014年3月に行われたマラウイでの配布活動にご同行いただいた広告デザイン会社「株式会社たき工房」様によるCSR活動「TAKI SMILE DESIGN LABO」の取り組みとして、文字が読めない子どもたちにも蚊帳が何か理解し、使用を促進させる目的で、オリジナルデザインで全面協力いただいていること。デザインは現在調整中。

TAKI SMILE DESIGNでは、2013年3月の配布の様子を映像にしてサイトに公開もされています。子どもたちへ蚊帳を配る様子や絵を描いている様子も映像で見ることができるので、ぜひチェックしてくださいね♪

「TAKI SMILE DESIGN LABO」Facebook : <https://www.facebook.com/takismailedesinelabo>





BIODIVERSITY IS OUR LIFE

[生物多様性] SATOYAMA BASKET

2010年のMISIAの生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)名誉大使就任をきっかけに始まった生物多様性保全活動も5年目を迎えました。

現在では石川県の「MISIAの森」では間伐や生きものが暮らせるように「エコスタック」づくりなど、森林保全活動をはじめ、横浜市栄区にある「横浜自然観察の森」でも森を歩き環境を学ぶイベントを開催しました。

さらに、石川、横浜では子どもにも人気の高いゲーム機を用いてオリジナルの「森の生きものの観察日記」を作成するイベントを開催するなど、充実したイベントを開催。参加した子どもたちも大喜びでした。



ケータイアプリ開発

これまでは実際に森での保全活動など、実際の「場所」を使った活動が多かったのですが、新たに他団体、大学などの協力を得て、生物多様性を知るためのケータイアプリ「MISIAの生物多様性検定」をリリース、配信を開始しました（共催：一般社団法人CEPAジャパン）。

アプリでは生物多様性について、絶滅危惧種や季節ごとの行事、各地の希少種など多様な情報が盛りだくさん。楽しみながら生物多様性を学べます。



アプリは iTunes で無料 DL 可能
<http://goo.gl/hZz5Ly>



SEND THE MESSAGE FROM TOHOKU

[東日本大震災] HOPE FOR JAPAN

mudefは「音楽を通じた被災地支援を」との思いのもと、被災された方たちが和太鼓の演奏を通して、被災地から日本へ、世界へ、メッセージをお手伝いをしました。

GLAY EXPO MICHINOKU KIZUNA TAIKO

東北は、伝統芸能や各地独自に発展した民謡や楽曲の演奏が盛んな土地として知られています。しかし、2011年3月11日に発生した東日本大震災によって、震災により伝統芸能の練習場として使われてきた施設の殆どが閉鎖されたり避難所にされたりする等、皆で演奏し、音楽を楽しむ機会と失いつつあります。

そんな彼らに発表する場を提供することを通じて、震災からの早期復興等を祈念することを目的に、GLAY EXPO 2014 TOHOKU 20th Anniversaryに合計111人の太鼓奏者が出演、演奏を披露

する機会を得ました。参加者は111人の中には太鼓の経験者だけではなく、今回初めて太鼓に触る、という人も。小学生から大人まで、太鼓を通じてメッセージを送りたいと願う人々110名が参加してくれました。

本番までに2回の合同練習を経て、演奏する楽曲を何度も練習しました。本番となったのは、9月20日（土）、東北・ひとめぼれスタジアム宮城。10年振りとなるGLAY EXPOには、大規模野外ライブとして東北史上最多となる5万5000人が来場。たくさんの観客の前で、太鼓チームは一糸乱れない演奏を披露することができました。



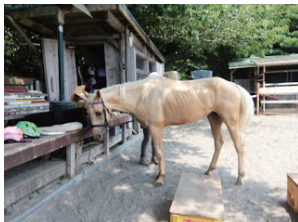
ACCESSIBLE SOCIETY FOR ALL

[馬に乗る] HOPE&DREAMS PROJECT

2012年より支援を開始した同プロジェクトは、特別なニーズを持つ子どもやその家族などを対象に、乗馬クリニックを中心に、子どもたちが馬や自然とふれ合うことで、人と生きものの、自然の関係を体感し、そして人との関係を見直す場を提供してきました。

神奈川県横須賀市にある乗馬クラブを拠点に定期的に行われるクリニックのほか、外部団体へのプログラムの提供も行われました。特に2014年11月に福岡で開催される知的障がい者のための全国大会「スペシャルオリンピックス福岡大会」で乗馬が初めてエキシビジョン種目となったことから、各地でコーチ育成のための支援も行われました。

馬と触れ合うことは、身体的なリハビリはもちろん、心のケアも期待されます。mudefでは児童予後施設への馬の訪問プログラムも支援するなど、その活動の幅を広げています。



FROM SECRETARIAT

事務局報告

mudefの活動は、評議員会の決定に基づき、理事会が事業を遂行します。遂行に当たっては事務局、企画局が事務作業を実施します。事務局は、決定に基づき、事業運営のほか、月ごとに発行するニュースレターやウェブサイトの運営、助成金などの申請などを担当します。期末ごとに監事による監査を経て、事業実施状況が評議員会に報告され、次年度の事業計画が確定することとなります。

2014年第5期収支状況

収入	¥15,362,526	支出	¥15,827,298
公益目的事業	¥8,764,769	公益目的事業	¥6,505,532
収益事業	¥5,761,252	収益事業	¥5,292,033
		管理費	¥462,772
一般正味財産期末残高		¥6,534,941	

*2014年5月1日より9月30日までの収支状況です。
*表には前期繰越、指定財産などは含まれていません。

mudef SUPPORTERS

私たちの活動は、賛同いただいた多くの個人・団体の方の支えを受けて行われています（事業別/50音順/敬称略）

- ◆Project Magoso：マイシャ・ヤ・ラハ基金
- ◆Love is Free Campaign：Consol Homes Orphan Care / PSI Malawi / 独立行政法人国際協力機構 (JICA) / 住友化学株式会社 / 株式会社たき工房 / チョコレートデザイン株式会社 / 株式会社豊田通商
- ◆生物多様性普及啓発事業：愛知県 / アサヒビール株式会社 / アパグループ / イオン株式会社 / 一般財団法人イオン 1% クラブ / 石川県 / 石川県森林公園 / 金沢大学 / 環境省 / 国連広報センター / 国連生物多様性条約事務局 / 国連大学 / 対馬野生生物保護センター / 津幡町 / 津幡町英田小学校 / 日本航空株式会社 / 株式会社メーブルハウス / 公益財団法人日本野鳥の会 / 公益財団法人日本ユースリーダー協会 / 横浜自然観察の森 / 横浜市栄区役所
- ◆HOPE FOR JAPAN：あしなが育英会 / 特定非営利活動法人アムダ / 特定非営利活動法人国境なき医師団日本 / 特定非営利活動法人ジェン / 公益社団法人 Civic Force（緊急即応チーム） / 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
- ◆広報活動：株式会社 dmp
- ◆障がい者乗馬事業：株式会社エール